

SEIWA

OPE-MAN/TPGSG-3/9911

セイワ 塗料高圧吹付用

エアレスガン

シリーズ

型 式 TPG-1/SG-10/SG-11
SG-22/SG-24/SG-24V
SG-24B



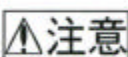
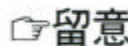
取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しくお使いください。誤った取り扱いは機械の故障や大変な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。

この度は、SEIWA「エアレスガン シリーズ」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守り下さい。

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きいことを示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します。
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します。
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

安全のために

△ 危険

- 狭い敷地内で、引火性のある塗料（液体）を用いた塗装作業は火災や爆発の危険があります。換気の良い場所で使用してください。
- タバコ、ライターの火、電源スイッチからの電気火花、近くでの溶接、グラインダー作業の火花静電気による火花放電などは引火源となりますので近づけないでください。

△ 警告

- 非常に高い圧力で噴出する塗料（液体）は身体を傷つける危険があります。エアレスガン、塗料ホースからの漏れ出しがあった場合は直ちに作業を中止してください。
- 漏れ出ししている部分を手足や体で止めることは絶対しないでください。
- 作業中スプレー口が詰まった場合絶対にのぞき込んだり指で触れないでください。
- 異常を取り除く場合は必ず機械を停止させ、全ての圧力を抜いた後に行ってください。
- 塗装作業をしない時は常にセフティロックをかけ、エアレスガンの引き金が誤って引かれなないようにしてください。
- セフティロックが効かないものや引金が戻らないもの及び接続部分より漏れが発生したものは使用しないでください。
- エアレスガンの改造をしたり安全装置（セフティロック・安全ガード）を取り外すことはしないでください。

△ 注意

- 塗料ホースを強く引張ったり無理に曲げたりしないでください。
- 外観にキズが付いたり折れ曲がったり、つぶれたりしている塗料ホースは破裂して塗料が吹き出す恐れがあり、危険ですので絶対に使用しないでください。
- 接続部は漏れないようにしっかり締め付けてください。漏れが発生した時は、直ちに機械を停止させ、エア抜きの状態にし、塗料圧力を下げてください。
- 塗料が皮膚に付着したり、目に入らないような服装・保護具（塗装用マスク・メガネなど）を着用してください。
- 必要以上にシンナーだけの噴出は避けてください。引火すると危険です。
- 被塗装物も接地（アース）してください。静電気が被塗装物にもたまる事があります。

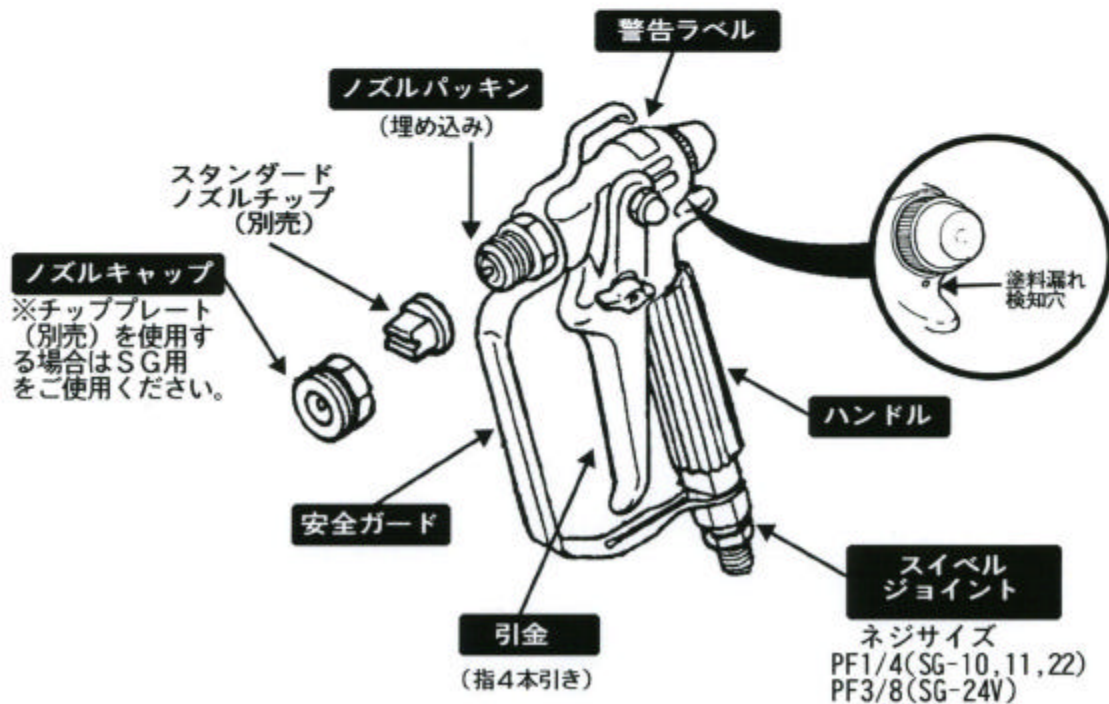
仕様

型式	TPG-1	SG-10	SG-11	SG-22	SG-24	SG-24V	SG-24B
最高使用圧力 MPa (kgf/cm ²)	25 (250)						
重量(g)	420	455		445	455	485	
引金形状	4本引き			2本引き	4本引き		
塗料ホース 接続ネジ	PF1/4 (G 1/4)					PF3/8 (G 3/8)	
フィルター (標準)	60メッシュ					なし	
付属品	—	洗浄ブラシ					
	—	—	工具スパナ 19×22 1本				
	—	—	ノズルパッキン				
	—	—	フィルター100メッシュ		40メッシュ 60メッシュ		

※ノズルチップは別売りとなります。

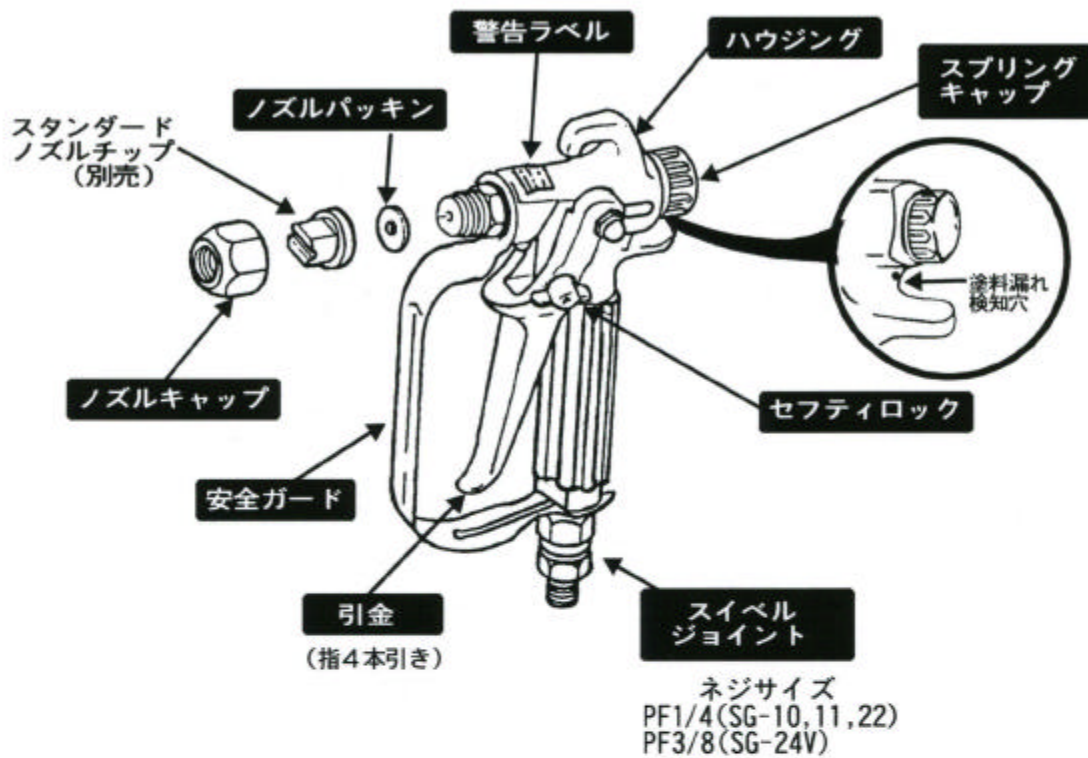
各部名称

TPG-1

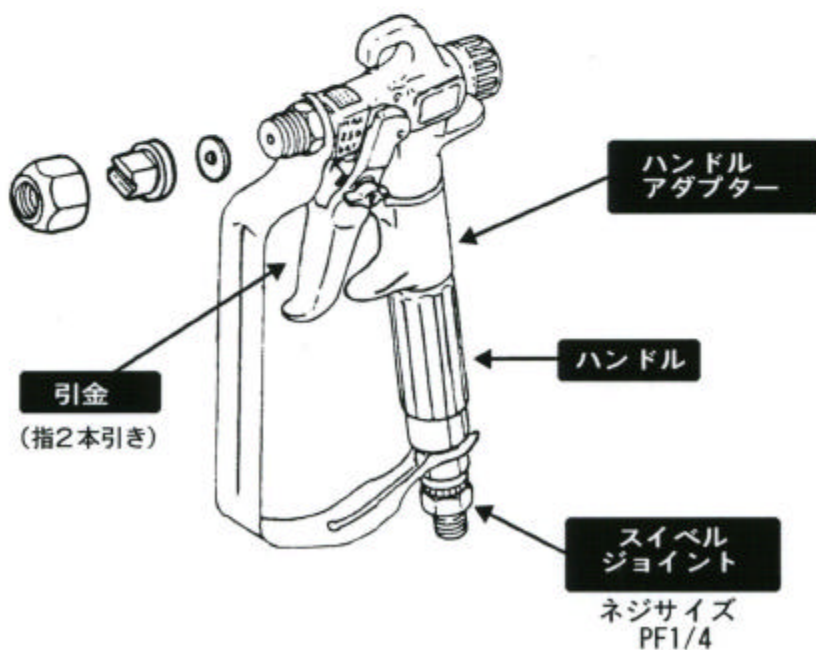


各部名称

SG-10/SG-11/SG-24/SG-24V/SG-24B

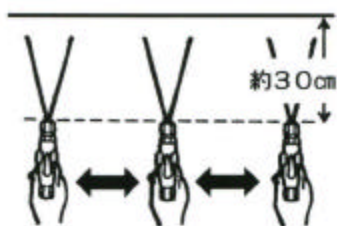


SG-22



使用方法

1



ガンは塗装面に向けて、約30cmの間隔を保ち、一定の速さで平行に移動します。

2



ノズルチップとガンフィルターの取り外しは図の様にしてください。ノズルチップが詰まった場合はノズルチップを外してエア等で逆方向から吹き付けて除去してください。取り付けの際にはパッキンが入っているか確認してしっかり締め付けてください。

☞ 留意

- 圧力がかかった状態では絶対にノズルチップの交換やフィルターの取外しはしないでください。塗料が吹き出し危険です。
- 使用後は、次回に備えて必ず洗浄し、大切に扱ってください。ハンドル内部のガンフィルターは取り外してブラシ等で洗浄してください。

クランプノブの使い方

スプレーロック (連続吹付)



引金を引いた状態でノブの矢印がガン先を向くように回しながら引金を離します。再度引き直せば自動的に解除されます。

セフティロック (安全停止)



引金を引かない状態でノブの矢印がハンドル側向くように回します。

☞ 留意

- 安全のため塗装作業を行わない時やノズルチップを外す場合は必ずセフティロックをかけてください。
- 塗料等が固着すると動かなくなることがありますので、洗浄・注油等を行ってください。

ノズルチップ口径とガンフィルター参考

チップ口径 インチ(mm)	フィルター メッシュ/リング色	適応塗料
0.013(0.33)以下	200/赤	ラッカー系、ウレタン系、フタル酸系 メラミン系、合成樹脂系
0.013(0.33)以上 0.018(0.46)以下	100 /黄	一般錆止め類、シーラー、塩ビ系
0.018(0.46)以上 0.026(0.66)以下	60/白	一般型タールエポキシ、エアレス用プラサフ アルコール系無機ジンク
0.026(0.66)以上	40/緑	圧塗型タールエポキシ、各種高粘度塗料
0.031(0.79)以上	なし	弾性タイル、フィーラーアルマネーション 延焼防止塗料、水性無機ジンク

付記

【各種ノズル】

用途に応じてお選びください。特注サイズも承っております。

◆スタンダードチップ

標準ノズルです。
ノズルサイズも各種取り揃えて
ございます。

◆フリーパターンチップ

吹き付けのパターン巾を自在に
調節でき、同時にノズルの詰ま
りが解消出来ます。

◆チェンジクリーンチップ

ノズルの詰まりがワンタッチで解
消でき、また塗面の仕上がりが美
麗です。

◆ニューロトクリーンチップ

ノズルの回転により、ノズルの
詰まりが簡単に解消出来ます。

◆テール防止用チッププレート

吹き付け時のテールを防止するも
ので、吐出量を抑えキリを細かく
します。

◆ダブルチップ

微粒化高級仕上げ用ノズルです

◆丸吹きチップ

円環状に出ます。パイプ内面の吹
き付け等にご利用ください。

◆ターンクリーンチップ

回転式ノズルで、詰まりが簡単
に解消出来ます。

ハンドルの取付け、取外しについて

- ハンドルは緩み、漏れ防止のためきつく締めてあります。

取外しの際は19mmのスパナをご用意いただき、スパナで取外してください。
また、取付けの際も同様にスパナでしっかり締め付けてください。

エアレスガンの運転開始前に必ず下記空欄に必要なことがらを記入してください。点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式		ご使用開始年月日	
製造番号		ご購入先	TEL ()
ご購入年月日			

アフターサービスについて

保証規定

1. 保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2. 適用除外 ●保証期間中でも下記の場合には適用いたしません。

- (1) 不当な修理や改造による故障、損傷
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷
- (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷
- (4) 使用・取扱上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷
- (5) ノズル、摺動部の摩耗およびパッキン等の消耗部品
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合

3. ●本書はお買い上げの納品書（納入日が記載されていることを確認）とともに大切に保管してください。

修理サービス

●修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

〒432-8006 静岡県浜松市大久保1348 ☎ 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台 ☎ 022-241-2145(代) FAX 022-242-2547	大阪 ☎ 06-6794-3511(代) FAX 06-6794-7247
群馬 ☎ 027-252-6791(代) FAX 027-252-6726	岡山 ☎ 086-426-5200(代) FAX 086-426-5201
東京 ☎ 03-3638-6911(代) FAX 03-3638-6921	広島 ☎ 082-250-3831(代) FAX 082-250-3832
神奈川 ☎ 0462-63-3029(代) FAX 0462-63-3026	四国 ☎ 0878-33-0037(代) FAX 0878-33-0043
名古屋 ☎ 052-412-1717(代) FAX 052-412-7360	福岡 ☎ 092-504-7213(代) FAX 092-583-3713